



2025 年 6 月号

ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区

Governor Today

ガバナートゥデイ

ガバナースローガン

未来へ 共に奉仕の歩みを

332-C地区
LINE公式アカウント
@905bmsug
友だち募集中
登録はQRコードから



ご挨拶

2024～2025年度 332-C地区ガバナー 佐藤 久一郎 (南三陸志津川LC)

このたびは第71回地区年次大会にご出席いただき、誠にありがとうございました。

地元・南三陸町のベイサイドアリーナにて、多くの皆様に見守られながら盛大に開催できましたこと、心より御礼申し上げます。また、晩餐会では志津川仮設魚市場にてマグロの解体ショーなども行われ、風の強い中ではございましたが、最後までご歓談とご交流のひとつときをお楽しみいただけたことと存じます。

繰り返しになりますが、復興の進んだ南三陸の姿をご覧いただけたこと、また、地元・志津川魚市

場の関係者が元気に仕事に励む姿の一端に触れていただけたことを、大変うれしく思っております。

また今大会において、斎藤ガバナーエレクトが誕生し、新たに副地区ガバナーも信任されました。今後の332-C地区のさらなる飛躍を感じさせる力強い布陣が整い、大変心強く存じます。

これまで賜りました多大なるご支援とご協力に深く感謝申し上げますとともに、皆様のご健勝と、332-C地区ならびに各クラブの今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



ライオンズクラブ国際協会332C地区 第71回 地区年次大会

2025年5月11日(日)/南三陸総合体育館ベイサイドアリーナ

ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区の第71 回年次大会が、5月10日(日)に南三陸町のベイサイドアリーナにて開催されました。当日は「ワンチームで足跡をしるそう！ 332-C」という大会テーマのもと、宮城県内各地から500名を超える参加者が一堂に会し、盛大に執り行われました。

午前の部では、各委員会および代議員会があり、ガバナーエレクトおよび第一、第二副地区ガバナー候補者の信任投票が行われました。投票後、決議委員会が催され、第1号議案から第9号議案の提出議案が審議、決議されました。すべて議案通り可決されました。

午後からは地区年次大会式典が本格的に開催され、国



際アワードなどの各種表彰式が執り行われました。年次報告とともに受賞者たちのこれまでの奉仕活動が称えられ、会場は大きな拍手に包まれました。また、ガバナーエレクトとしてL斎藤孝一、第一副地区ガバナーとしてL今野 交、第二副地区ガバナーとしてL内田洋一の紹介が行われ、次年度への期待が高まりました。こうして地区年次大会は滞りなく進行し、盛況のうちに幕を閉じました。

式典終了後は、会場を南三陸町の志津川仮設魚市場へと移し、晩餐会が開催されました。会場ではマグロ解体ショーをはじめとした多彩なアトラクションが用意され、参加者は食と交流を楽しみながら、親睦を深める和やかなひと時を過ごしました。笑顔あふれる晩餐会をもって、第71回地区年次大会は大盛況のうちに閉会となりました。

3バンク・献血推進・糖尿病対策支援委員会 主催 パンダはく製ふれあいイベント

2025年4月26日(土)/宮城県立視覚支援学校

4月26日(土)午後1時より、宮城県青葉区上杉にある「宮城県視覚支援学校」の教室1室と、体育館の2か所を会場に、視覚障害のある子供たち向けに、パンダのはく製を使った触観察体験イベントを開催しました。

仙台市宮城野区福田町の菅原動物病院院長先生が所有されている本物のパンダのはく製を「障害のある方々に直接触れて大きさや質感を感じていただきたい」とのお話を受け企画したもので、約3年ぶりに県内で開催する運びとなりました。折しも、4月24日に「和歌山のアドベンチャーワールドのパンダ4頭すべて中国返還へ。残るは上野動物園の2頭のみ」というニュースがあったばかり。剥製ながら、貴重なパンダに触れあえる機会ということで、会場は

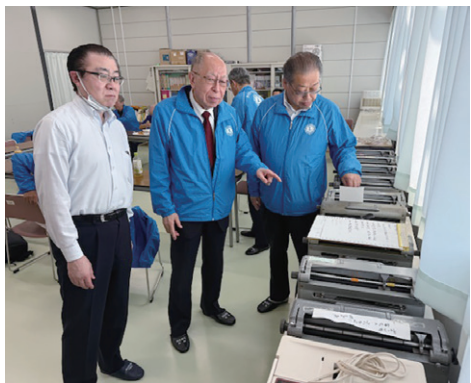
視覚支援学校の子供たち、その家族で満員となり、午後1時から、2時半までの約1時間半、人は途切れる事なく約100名を超える参加者となりました。他にも仙台市科学館より貸し出された、熊やカラスの剥製等もあり、子供たちは皆、付き添いの先生に手を引かれながら、最初はおそるおそるパンダに触りましたが、次第になれてゆっくりと撫でて、その大きさや形状を興味深そうに確認していました。その小さな手で触る度、歓声が巻き起こり、会場はとても賑やかで楽しい雰囲気になって大盛況のうちに終了しました。ご協力いただきました菅原先生、ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。



パンダの剥製を下す様子。体も大きなパンダは運ぶのは一苦労。運搬車も専用の特注車です。



パンダを無事、教室へ運搬したところで、みんなでパシャリ。



お借りした控室においてあった、壊れた点字のタイプライターが並んでいました。まだまだ我々にはやることあると思いました。



小さな手がパンダの耳、足、爪を触る様子。触る度に子ども達の表情も変わります。



参加した子ども達の歓声を聞きながら



大成功を祝って

LCIF チャリティゴルフコンペ

2025年4月3日(木)/仙台クラシックゴルフ倶楽部(富谷市)

今年度の地区LCIFチャリティゴルフコンペは、去る4月3日(木) 富谷市の「仙台クラシックゴルフ倶楽部」を会場として開催いたしました。2023年より、毎年この時期に開催されるこのコンペはLCIF・合同アクティビティ基金管理委員会の事業としてクラブメンバー皆様へのLCIFへの理解と寄付推進を目的に続けてまいりました。

今回は、総勢67名、17組のライオンおよびノンライオンの皆様に参加いただき、心配された天気もさほど影響なくプレーすることができました。恒例のワンオンチャリティにおいては今回も積極的に寄付のご協力をいただき、さらには佐藤久一郎ガバナーをはじめ

とした地区役員の皆様方からの多大なるご協賛のおかげで、コンペ収益による寄付額約\$3,000を計上することができました。この寄付は参加メンバーの所属クラブに振分けクラブからの寄付実績として報告させていただきます。ご協力誠にありがとうございました。

優勝者・準優勝者は以下の通りです。

優 勝 L高平 賢(仙台いすみLC)

準優勝 L藤井 郁也(仙台広瀬LC)

LCIF・合同アクティビティ基金管理委員会

委員長 L内田 洋一(岩沼LC)



ライオンズクラブ国際協会 332 複合地区 第71回 332 複合地区年次大会

2025年5月23・24・25日(金・土・日)/ホテルメトロポリタン仙台

ライオンズクラブ国際協会 第71回332複合地区年次大会が、2024年5月23日(金)から25日(日)までの3日間、宮城県仙台市にて開催された。

初日の23日には、大会記念行事として「第71回複合地区年次大会記念 大船渡災害支援チャリティゴルフ大会」がおこなわれた。森林火災により被災した大船渡地域への支援を目的とした本大会には、各地区から多くの会員が参加した。青空の下、和やかな雰囲気の中でプレーを楽しみながら、クラブ間の親睦と交流を深める貴重な機会となった。

24日(土)は、16時30分よりホテルメトロポリタン仙台を会場に、「議事運営委員会」および「国際理事候補者推薦委員会」が開催された。今大会の議事進行と国際理事候補推薦に向けた重要な調整・報告が行われ、複合地区全体の意思統一が図られた。その後、盛大に前夜祭が行われ、久しぶり集う顔ぶれということもあり、大いに親睦が深められた。

大会最終日の25日(日)は、午前「代議員総会」が開催され、大会役員紹介に続いて大会議長 ガバナー協議会議長であるし渡邊俊弥の挨拶が行われ、続いて資格

審査委員会からの報告、国際理事候補者推薦委員会報告、年次活動報告、収支決算報告および次年度予算案の説明と承認が、厳粛かつ円滑に進められた。この中で、ライオンズクラブ国際協会GAT副リーダー兼ライオンズクラブ国際協会国際理事候補し田名部智之より推薦のお礼とこれからの意気込みについて挨拶があった。次に新たなアクティビティスローガンの発表があり、ガバナー協議会次期議長、各準地区ガバナーの入場、紹介があった。続いて今期中に活躍をされた方々へのアワード表彰が行われた。また次回は福島県郡山市の開催が久保田332-D地区元ガバナーより発表、紹介された。

13時30分より、同ホテルにて「議長午餐会」が開催され、各地区の代表者が一堂に会し、笑顔のあふれる和やかな雰囲気の中で、大会の成功を祝った。次年度に向けた意気込みも語られ、今後の活動への意識を高める有意義なひとときとなった。

3日間にわたり開催された今大会は、「We Serve (われわれは奉仕する)」というライオンズクラブの理念を改めて確認し、複合地区内の絆をより深め、新たな年度に向けて力強いスタートを切る大会となった。



2025年4月 マンスリーレポート集計表

会員増強状況

	期首	前月末	入 会		退 会		今月末	比 較	
			当月	累計	当月	累計		期首	当月
クラブ数	55	55	0	0	0	0	55	0	0
会員数	1,486	1,493	12	89	6	76	1,499	13	6

アクティビティ活動報告

項 目	件 数	実 績
金額アクティビティ	35件	1,457,802円
労力アクティビティ	76件	289.5 H
献血アクティビティ	3件	動員数 230人 91,400cc
使用済み切手		0枚
献眼登録アクティビティ		0人
献眼アクティビティ		0人
献腎登録アクティビティ		0人
献腎アクティビティ		0人

リジョン別会員数

R	Z 数	クラブ数	平均出席率 %	R	1 Z	2 Z
				会員数	会員数	会員数
1	2	14	57.5	465	281	184
2	2	11	68.9	206	130	76
3	1	9	72.9	218	218	
4	2	13	60.6	438	216	222
5	2	8	58.9	172	65	107
計	9	55	63.8	1,499	910	589

ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区 会員の皆様へ

アクティビティレポート記事募集のお願い

地区情報誌「アクティビティレポート」では、会員の皆様からの寄稿を募集しております。今回は、各クラブで行われているアクティビティに関する記事を募集いたします。

日頃の活動内容、地域社会への貢献や参加者の声など、貴クラブのアクティビティを具体的に紹介ください。写真も合わせてお送りいただけると幸いです。

皆様からの活動報告は、「アクティビティレポート」をより充実させ、地区内の情報共有や相互啓発に繋がる貴重な資料となります。ぜひ、貴クラブの活動を広く発信してください。

募集内容

テーマ：各クラブのアクティビティ

内 容：活動報告、地域社会への貢献、参加者の声など

文字数：300字程度

写 真：1～2枚程度（高画質のもの）

応募先：キャビネット事務局へメールまたは郵送にて

メール：332-c@lions-clubs.jp

皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。お送りいただいた写真、文章についてはホームページにも掲載させていただきます。

※肖像権の関係上、写っている方の確認がとれるものをお願いいたします。

ライオンズクラブ国際協会332-C地区 2024年-2025年度 地区運営方針

ガバナースローガン

未来へ 共に奉仕の歩みを

アクティビティスローガン

行動を起こそう332-Cはワンチーム



332-C 地区方針

1. 指導力 (GLT) 委員会

リーダーであるライオンの資質向上の機会を提供すると共に、国際協会が提供する各種知見を各クラブ会員に周知します。

2. 国際関係・YCE・レオ・委員会

ライオンズクラブ国際協会は16歳から21歳の青少年男女を世界各国のライオンズクラブ間で交換し合い、交流を通じて相互理解と国際親善に資する事業 (Youth Exchange : YE) を行っています。また来日した青少年が地域の青少年と幅広く交流する機会を提供しようと交流キャンプ事業 (Youth Camps : YC) を行っています。

青少年に経験と機会を与え、個性豊かな人間に成長させるための奉仕活動を実践してもらい、会員間の友情、親善、相互理解の精神を育成することを目的にレオクラブが結成されています。

3. 奉仕 (GST) 委員会

「糖尿病」・「視力保護」・「食糧支援」・「環境保全」・「小児がん」をテーマに奉仕事業を計画・実施します。

4. 眼鏡リサイクル委員会

不要になったメガネを回収し、度数を測定・分類し、洗浄した上で途上国にメガネを寄贈しています。

5. 会員増強 (GMT) 委員会

新クラブ結成・会員増強・退会者防止対策を検討・実施します。

6. LCIF・合同アクティビティ基金管理委員会

ライオンズ国際財団 (LCIF) の役割と活動状況を提供し、積極的な理解と協力を会員にお願いします。

7. 家族・女性チーム (FWT) 委員会

女性会員のライオンズクラブ結成や入会の窓口となります。家族会員の参加を勧誘します。

8. 国際大会委員会

国際大会 (国際大会・オセアル会議等) 参加の呼びかけと参加行程の企画を行います。

9. 青少年健全育成委員会

青少年の健全な成長に資するプログラムを学校や教育委員会と協力して企画・実践します。

10. 3バンク委員会

アイバンク・腎バンク・骨髄バンクの啓蒙活動に協力します。
献血推進や糖尿病支援も担当します。

11. 広報委員会 (ライオンみやぎ)

332-C 地区のライオンズクラブの活動を内外に発信します。

12. IT推進委員会

地区内のライオンが正確な情報入手・発信できる体制を構築します。

13. アラート委員会

災害など非常時にライオンズクラブとして即応できる奉仕のあり方を検討し、地区内の体制を整えます。

332-C 地区関連 6 月度予定表

日 程	行 事
6/7 (土)	332-C 地区 世界入会デー
6/9 (月)	次期三役・ZCスクール
6/16 (月)	ZC会議

アクティビティレポートは
アクティビティ通信として
15日に発信致します。